

令和8年3月5日

保護者の皆様

三庄小学校長 喜多 とよみ

### 三庄小学校「学校評価アンケート」集計結果について

日頃は、本校教育の推進にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、2月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果をふまえ、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。今後ともご協力よろしくお願いたします。

#### 考察について

アンケートは、A「よくあてはまる」 B「だいたいあてはまる」 C「あまりあてはまらない」 D「まったくあてはまらない」の4段階で評価していただきました。今回、A「よくあてはまる」と、D「まったくあてはまらない」に着目し、考察を行いました。

なお、□：保護者アンケート、◇：児童アンケート、○：今後の予定等とし、数値は四捨五入して表記しています。

#### 重点目標①よく考え、進んで学ぶ子どもの育成

A、Bの合計は、児童85%、保護者97%であるが、Aの割合は、児童49%、保護者34%である。保護者のAの割合は全ての項目において増えているが、家庭学習推進に関する項目は、依然として低い。また、児童のAの割合が減っている項目もあり、今後の取組を改善する必要がある。

□学校は、子どもの学力を向上させるため、工夫し熱心に指導している。

A：保護者 +5%

◇授業は楽しく、学習の内容がわかる。A：児童+9% D：児童-2%

◇授業中、自分の考えを発表している。A：児童+6% D：児童-4%

◇授業中、先生や友達の話をよく聞くことができている。A：児童+4% D：児童-1%

◇朝のスキル学習に真剣に取り組んでいる。A：児童+10% D：児童-1%

□学校は、読書（音読）やNIE（新聞学習）などを計画的に推進している。

A：保護者 +9%

◇進んで読書（音読）をしている。A：児童-3% D：児童+6%

◇新聞を読んだり、タブレットを使って学習したりすることは楽しいと感じている。

A：児童+41% D：児童-13%

□学校は、計画的に家庭学習を推進している。

A：保護者±0%

◇宿題は、必ずしている。A：児童-13% D：児童+1%

□学校は、ICT（タブレット等）の活用を努めている。

新規項目 A：保護者 43%

○教員が授業力を高め、ICTの効果的な活用により魅力ある授業を展開することは、児童の「わかる・楽しい」授業の実現と、個に応じた指導の充実に直結する。授業内にペアやグループによる対話の時間を意図的に確保し、自らの考えを形成・表出する機会を設けることで、他者へ伝えたいという意欲と自信を醸成していく。あわせて、朝のスキル学習等でタブレットを用いたトレーニング（コグトレ等）を継続し、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。こうした多角的なアプローチにより、主体的に学ぶ姿勢を育み、学習の質の更なる向上を推進する。

○児童が読書を通して学びを深めていくためには、「読む・知る・伝える」というサイクルを日常の中で循環させることが大切である。また、本や新聞に触れることそのもの楽しさや心地よさを感じられるような仕掛けを工夫することが求められる。さらに、活動の中心に児童自身が立ち、自ら選び、考え、発信する場を増やすことで、主体的に読書へ向かう姿を育てていくことが重要であ

る。例えば、日常の中に読書の習慣をつくる、本との出会いを増やす仕掛けをする、本や新聞を「話す・伝える」活動につなげる、異学年交流で読書の楽しさを広げることが考えられる。

- 児童が主体的に家庭学習へ取り組むためには、自ら学習の目的を理解し、学び方を選択できる環境づくりが重要である。特に、基礎的な学習内容の定着に加えて、興味や関心に応じて先取り学習に挑戦できる機会を整えることは、学習意欲の向上につながる。そのために、学校では、家庭学習として取り組みやすいドリルやプリントを計画的に提示するとともに、自主学習の進め方の例や、優れたノートの紹介を通して、学習の見通しをもてるよう支援する。また、児童が自ら課題を設定し、調べたりまとめたりする学習を評価・共有することで、学びの広がりを実感できるようにする。さらに、家庭と連携しながら、家庭学習の習慣化を促す声掛けや学習環境づくりの協力を得ることで、継続的に学び続ける力を育てる。こうした取組を通して、児童が自ら学びを選び、深め、広げていく姿をめざしていく。

## 重点目標②心優しく思いやりのある子どもの育成

A、Bの合計は、児童91%、保護者96%であり、保護者のAの割合は全ての項目において増えており、目標が達成できたと考えられる。しかし、児童のAの割合は減っている項目もあり、今後も実践を継続する必要がある。

□学校は、人権学習・道徳学習をとおして、規範意識や思いやりの心をもった子どもを育てている。 A：保護者+3%

◇学校は、楽しい行事や集会があり、いろいろなことを体験できている。 A：児童+11%

◇自分にはよいところがある。 A：児童+12%

□学校は、子どものまちがった言動や行動について指導していることを保護者に伝え、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

A：保護者+10%

◇友達となかよくしている。 A：児童-1% D：児童-1%

□学校は、子どもの悩みや相談を親身に受け止め、対応していることを保護者に伝えている。

A：保護者 +12%

◇困ったことやなやみごとがあれば、友達や先生、お家の人に相談できる。

A：児童+14% D：児童-3%

- 子どもが互いのよさを認め合い、励まし合いながら学びを深めていくこと、そして子どもと教職員との望ましい信頼関係を築いていくことを目標に、これまで取組を進めてきた。特に今年度は、子ども主体のポジティブ行動支援を推進し、子どもが自ら気付いたり、仲間と話し合ったりしながら行動を改善できるような場づくりに力を入れている。例えば、学校やクラスの課題解決やルールを子どもと一緒に考える、よい行動を見つけて互いに認め合う仕組みをつくる、行動目標を自分で設定できるようにするなど、子どもが主体的に関わる機会を意図的に設けることを大切にしている。今後も、普段の学校生活はもちろん、三庄キッズ（異学年集団）班での活動や、行事・集会を通じた交流を重ねながら、仲間づくり・人間関係づくりをめざした取組を着実に進めていきたい。

- 子どもに寄り添い、一人一人の声に丁寧に耳を傾ける姿勢を今後も大切にしていく。また、子ども同士の間人間関係を細やかに見守り、必要に応じて適切な支援や対応を行うことで、安心して過ごせる学級づくりを進めていく。さらに、家庭との連絡を密にし、互いに情報を共有しながら信頼関係を深めることで、子どもの成長を学校と家庭が一体となって支えていきたい。

## 重点目標③健康でたくましい子どもの育成

A、Bの合計は、児童88%、保護者97%であり、保護者のAの割合は全ての項目において増えているが、児童のAの割合は減っている項目もあり、今後も活力ある子どもの育成のための実践を継続する必要がある。

□学校は、計画的に体力向上に取り組んでいる。

A：保護者 +9%

◇学校で体を動かすことに進んで取り組んでいる。 A：児童-5% D：児童-1%

- 学校は、校外学習や体験活動を効果的に取り入れ、豊かな心をもった子どもを育てている。  
A：保護者 +10%  
◇自分から進んであいさつしている。A：児童+25% D：児童-1%

- 遊びチャレンジ週間での外遊び奨励などの取組により、子どもたちは進んで体を動かす姿が見られた。また、2月には三庄キッズ（異学年集団）班で長縄集会に向けた練習を休み時間に行い、全校児童が活動に積極的に参加した。今後も、子どもの体力向上を目標に、計画的かつ継続的な実践を工夫しながら進めていく必要がある。
- 子どもの豊かな心を育むためには、校外学習や体験活動が欠かせない。今年度は、外国語活動や職業体験などの学習を通して、子どもたちに多様な経験を提供することができた。今後は、学習内容との関連や活動の目的をより明確にした校外学習や体験活動を計画的に実施し、子どもの学びを深めるとともに、豊かな人間性の育成につなげていきたい。

#### 重点目標④コミュニティ・スクールの推進

A、Bの合計は、児童91%、保護者96%であり、目標を達成できたと考えられる。

- 学校は、子どもの学習のために、保護者・地域と連携した活動を計画・実施している。  
A：保護者 +11%  
◇地域を訪れたり、地域の人に来てくれたりして、いろいろなことを教えてくれるのは楽しい。A：児童+10% D：児童-5%
- 学校は、配付物やホームページをとおして、教育方針や学校の取組をわかりやすく伝えている。A：保護者 +17%

- 昨年度は、保護者や地域と連携した活動に学年ごとの実施回数に差が見られたが、今年度は、各学年の学習内容に応じて、保護者や地域と協力した取組を計画的に実施することができた。その結果、子どもたちが教職員以外の多様な大人から学んだり、ともに活動したりする機会を設けることができた。
- 学年通信やホームページを通して、学校での活動の様子を継続的に発信し、保護者へ学校の取組を適切に伝えることができた。また、電話や連絡帳を活用して子どもの日々の様子を丁寧に共有し、家庭との情報連携を図ることができた。これらの取組により、学校と家庭との信頼関係の構築に一定の成果が見られた。

#### 重点目標⑤安全・安心・居心地のよい学校づくりを推進する

A、Bの合計は、保護者96%であり、目標を達成できたと考えられる。しかし、更なる向上をめざし、改善や取組の再考を行う必要がある。

- 校舎内外は、整理整頓や修繕・危険表示が行き届き、清潔感のある安全な教育環境が保たれている。 A：保護者 +7%
- 学校は、家庭・地域等と協力し、交通事故や不審者、災害等から児童を守る活動ができてい  
る。 A：保護者 +12%
- 学校は、各家庭や児童のプライバシーの保持ができてい  
る。 A：保護者 +15%

- 学校・家庭・地域が一体となって児童を守る意識を共有し、防災教育の理解を深めるため、参観日を活用した保護者参加型の防災教室を実施するとともに、参加しやすい方法を検討することで、地域全体で児童の安全を守る体制づくりを一層推進する。

#### 重点目標⑥家庭との連携等

A、Bの合計は、保護者93%であった。目標を達成できたと考えられる。しかし、授業参観の時期・回数については、今後検討していく必要がある。

- 授業参観の時期・回数は適切である。  
A：保護者 -2%
- 学校は、保護者が気軽に相談できるように努めている。

A：保護者 + 7%

学校が保護者等に出す文書・事務連絡（マチコミメールや紙媒体）は、適切である。

A：保護者 + 13%

学校は、働き方改革を推進し、児童と向き合う時間の確保に努めている。

新規項目 A：保護者 37%

- 授業参観は、学校の取組や子どもたちの学習の様子を保護者に理解していただき、家庭との連携を深める上で不可欠な機会である。一方で、今年度は A 評価が減少したことを真摯に受け止め、今後は授業参観の時期や回数、実施方法について改善の余地があると考えている。保護者の意見やニーズを踏まえながら、より参加しやすく、学校の教育活動が適切に伝わる形での実施を検討していく。
- 働き方改革の推進に向けて、今年度は日課の見直し等を行い、教職員の業務負担の軽減と効率化を図った。今後も、児童と向き合う時間を確保するために更なる改善を行っていく必要がある。また、保護者や地域に対しては、学校の取組や改革の趣旨を丁寧に説明する機会を設け、理解と協力を得ながら働き方改革を着実に進めていく。

# 令和7年度学校評価アンケート（保護者）結果

今年度学校重点目標		A	B	C	D
①	よく考え、進んで学ぶ子どもの育成	34.3%	62.3%	3.3%	0.0%
②	心優しく思いやりのある子どもの育成	36.5%	59.0%	3.6%	0.8%
③	健康でたくましい子どもの育成	38.0%	59.0%	3.0%	0.0%
④	コミュニティ・スクールの推進	37.8%	58.6%	3.6%	0.0%
⑤	安全・安心・居心地のよい学校づくり	37.8%	57.8%	4.4%	0.0%
⑥	上記以外の家庭との連携等	38.3%	54.8%	6.3%	0.6%

A・・・よくあてはまる

B・・・だいたいあてはまる

C・・・あまりあてはまらない

D・・・まったくあてはまらない

アンケート回収

83名

視点	目標	アンケート内容	評価 (%)			
			A	B	C	D
子どもの学習・生活	①-1	学校は、子どもの学力を向上させるため、工夫し熱心に指導している。	34.9%	62.7%	2.4%	0.0%
	①-2	学校は、読書（音読）やNIE（新聞学習）などを計画的に推進している。	33.7%	61.4%	4.8%	0.0%
	①-3	学校は、計画的に家庭学習を推進している。	25.3%	71.1%	3.6%	0.0%
	①-4	学校は、ICT（タブレット等）の活用に努めている。	43.4%	54.2%	2.4%	0.0%
	②-1	学校は、人権学習・道徳学習をとおして、規範意識や思いやりの心を持った子どもを育てている。	32.5%	63.9%	2.4%	1.2%
	②-2	学校は、子どものまちがった言動や行動について指導していることを保護者に伝え、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	39.8%	54.2%	4.8%	1.2%
	②-3	学校は、子どもの悩みや相談を親身に受け止め、対応していることを保護者に伝えている。	37.3%	59.0%	3.6%	0.0%
	③-1	学校は、計画的に体力向上に取り組んでいる。	32.5%	56.6%	10.8%	0.0%
	③-2	学校は、校外学習や体験活動を効果的に取り入れ、豊かな心を持った子どもを育てている。	39.8%	56.6%	2.4%	1.2%
家庭・地域との連携	④-1	学校は、子どもの学習のために、保護者・地域と連携した活動を計画・実施している。	32.5%	63.9%	3.6%	0.0%
	④-2	学校は、配付物やマチコミメール、ホームページ等をとおして、教育方針や学校の取組をわかりやすく伝えている。	43.4%	54.2%	2.4%	0.0%
	⑤-1	校舎内外は、整理整頓や修繕・危険表示が行き届き、清潔感のある安全な教育環境が保たれている。	34.9%	61.4%	3.6%	0.0%
	⑤-2	学校は、家庭・地域等と協力し、交通事故や不審者、災害等から児童を守る活動ができています。	34.9%	57.8%	7.2%	0.0%
	⑤-3	学校は、各家庭や児童の個人情報の保護ができています。	43.4%	56.6%	0.0%	0.0%
	⑥-1	授業参観の時期・回数は適切である。	31.3%	57.8%	9.6%	1.2%
	⑥-2	学校は、保護者が気軽に相談できるように努めている。	37.3%	54.2%	8.4%	0.0%
	⑥-3	学校が保護者等に出す文書・事務連絡（マチコミメールや紙媒体）は、適切である。	47.0%	51.8%	1.2%	0.0%
⑥-4	学校は、働き方改革を推進し、児童と向き合う時間の確保に努めている。	37.3%	55.4%	6.0%	1.2%	

# 令和7年度 学校評価アンケート（児童）結果

今年度学校重点目標		A	B	C	D
①	よく考え、進んで学ぶ子どもの育成	48.8%	35.9%	11.9%	3.3%
②	心優しく思いやりのある子どもの育成	61.7%	28.9%	7.4%	2.0%
③	健康でたくましい子どもの育成	60.5%	27.1%	8.8%	3.5%
④	コミュニティ・スクールの推進	70.3%	21.1%	7.8%	0.8%

A・・・よくあてはまる  
C・・・あま

B・・・だいたいあてはまる

アンケート回収  
126名

視点	目標	アンケート内容	評価 %			
			A	B	C	D
学力・学習習慣	①-1	授業は楽しく、学習の内容がわかる。	44.5%	48.4%	6.3%	0.8%
	①-2	授業中、自分の考えを発表している。	28.1%	34.4%	30.5%	7.0%
	①-3	授業中、先生や友達の話をよく聞くことができる。	50.0%	42.2%	7.0%	0.8%
	①-4	朝のスキル学習に真剣に取り組んでいる。	57.0%	35.2%	6.3%	1.6%
	①-5	進んで読書（音読）をしている。	40.6%	31.3%	20.3%	7.8%
	①-6	新聞を読んだり、タブレットを使って学習したりすることは楽しいと感じている。	60.2%	28.1%	8.6%	3.1%
	①-7	宿題は、必ずしている。	60.9%	32.0%	4.7%	2.3%
人間関係	②-1	学校は、楽しい行事や集会があり、いろいろなことを体験できている。	67.2%	29.7%	3.1%	0.0%
	②-2	友達となかよくしている。	79.7%	15.6%	4.7%	0.0%
	②-3	困っている友達がいたら、声をかけたり助けたりしている。	54.7%	38.3%	5.5%	1.6%
	②-4	困ったことやなやみごとがあれば、友達や先生、お家の人に相談できる。	45.3%	32.0%	16.4%	6.3%
元気な子ども	③-1	自分から進んであいさつをしている。	67.2%	25.0%	5.5%	2.3%
	③-2	友達と協力してそうじや当番の仕事をしている。	74.2%	19.5%	4.7%	1.6%
	③-3	学校で体を動かすことに進んで取り組んでいる。	58.6%	26.6%	13.3%	1.6%
	③-4	自分にはよいところがある。	42.2%	37.5%	11.7%	8.6%
連携	④	地域を訪れたり、地域の人に来てくれたりして、いろいろなことを教えてくれるのは楽しい。	70.3%	21.1%	7.8%	0.8%

# 令和7年度学校評価アンケート（教職員）結果

今年度学校重点目標		A	B	C	D
①	よく考え、進んで学ぶ子どもの育成	61.9%	36.9%	1.2%	0.0%
②	心優しく思いやりのある子どもの育成	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
③	健康でたくましい子どもの育成	84.3%	15.7%	0.0%	0.0%
④	コミュニティ・スクールの推進	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%
⑤	安全・安心・居心地のよい学校づくり	69.0%	31.0%	0.0%	0.0%
⑥	その他	76.8%	19.6%	3.6%	0.0%
⑦	研修	88.1%	11.9%	0.0%	0.0%

A・・・よくあてはまる  
B・・・だいたいあてはまる  
C・・・あまりあてはまらない  
D・・・まったくあてはまらない

アンケート回収  
14名

視点	目標	アンケート内容	評価 (%)			
			A	B	C	D
子どもの学習・生活	①-1	学校は、子どもの学力を向上させるため、工夫し熱心に指導している。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%
	①-2	スキルタイムは、計画的に運営され、効果的であると感している。	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	①-3	学校は、読書(音読)やNIE(新聞学習)などを計画的に推進している。	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%
	①-4	学校は、計画的に家庭学習を推進している。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%
	①-5	学校は、ICT(タブレット等)の活用に努めている。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
	①-6	支援を要する児童への対応が全職員の共通理解のもとで実践されている。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
	②-1	学校は、全教育活動を通じて、子どもの自尊感情を高める人権教育を実践している。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
	②-2	学校は子どものまちがった言動を適切に指導していることを保護者に伝え、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
	②-3	学校は、子どもの悩みや相談を親身に受け止め、対応していることを保護者に伝えている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	②-4	ふれあいメールの調査結果などを有効に生かし、積極的な生徒指導に努めている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	③-1	学校は、全教育活動を通じて、規範意識や基本的な生活習慣の育成を実践している。	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%
	③-2	学校は、校外学習や体験活動を効果的に取り入れ、豊かな心を持った子どもを育てている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	③-3	学校は、計画的に体力向上に取り組んでいる。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
	③-4	学校は、健康観察や健康診断の事後措置・疾病予防等をとおして、心身の健康の保持・増進を図っている。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
学習環境・家庭・地域との連携	④-1	学校は、子どもの学習のために、保護者・地域と連携した活動を計画・実施している。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%
	④-2	学校は、配付物やマチコメメール、ホームページ等をとおして、教育方針や学校の取組をわかりやすく伝えている。	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%
	⑤-1	校舎内外は、整理整頓や修繕・危険表示が行き届き、清潔感のある安全な教育環境が保たれている。	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%
	⑤-2	学校は、家庭・地域等と協力し、交通事故や不審者、災害等から児童を守る活動ができています。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
	⑤-3	学校は、各家庭や児童の個人情報の保護ができています。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
	⑥-1	授業参観の時期・回数は適切である。	57.1%	35.7%	7.1%	0.0%
	⑥-2	学校は、保護者が気軽に相談できるように努めている。	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%
	⑥-3	学校が保護者等に出す文書・事務連絡(マチコメメールや紙媒体)は、適切である。	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%
研修	⑦-1	全教職員が意欲的に学び、効果的で有意義な研修を実践している。	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
	⑦-2	コンプライアンス研修を通し、教職公務員としての倫理観が確立した職員組織になっている。	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%
	⑦-3	職員間の信頼関係が築かれ、協働し働きやすい職場環境になっている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%